

## 平成24年度事業報告及び収支決算

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

### 総 説

平成25年4月1日、東京都交友会は一般社団法人への移行を行い、装いを新たにスタートしました。平成24年度は、これに照準を合わせて取り組み、完了した一年でありました。

平成24年7月4日の総会で法改正の趣旨に沿った定款の全面変更、11月6日の臨時総会で新法人の代議員、理事、監事の選任及び一般社団法人移行認可申請の決議を行いました。これらを受けて東京都に移行認可申請書を提出、同月26日開催の東京都公益認定等審査会による認可基準適合との答申があり、平成25年3月25日東京都からの認可書の交付を受けて東京法務局への移行登記申請を行い、4月1日付の一般社団法人への移行登記が完了、4月26日の東京都への登記完了届けをもって全ての移行手続きを完了いたしました。

この移行に伴い、申請段階から予算の様式については「公益法人会計平成20年基準」を採用し、それが本決算の様式にも反映されています。

収入については、太宗を占める賃貸事業が関係者のご協力により賃貸面積が微増したことにより、当初予算額を若干上回る収入額となりました。しかし賃貸期限の制約等があり、実績は賃貸可能面積の72%にとどまりました。

支出については、理事会・代議員会等の費用弁償の額の減額、懇親会の回数の見直しをはじめとする管理的経費の削減に努め、消費税・法人税等の発生年度主義移行等による負担増があったにもかかわらず、予算作成時の経常増減額の赤字を若干ではあるが圧縮することができました。

例年実施している公益に関する事業、会員を対象とする各種事業については、会員、役員等の皆様のご理解ご協力により、例年を上回る参加を得ておおむね計画どおり実施することができました。

当ビルの建替え問題については、東京都住宅供給公社との協議を進め、建物解体に向けての相互協力、敷地の借地権の取扱いについての東京都との協議促進、借家人の退去が完了したときの相手方に対する借地権の買取り請求権等を規定した合意書を平成24年8月17日に調印し、引き続き今後の基本的方向について協議を行いました。

以下に、本年度の事業と決算について報告いたします。

# 事業報告

## I 会員事業

### 1 定期総会、臨時総会の開催

#### (1) 定期総会 平成24年7月4日(水) 上野精養軒にて開催

野村会長の挨拶で始まり、出席された都知事代理の安藤立美副知事、小倉基元都議会議長より祝辞をいただき、ご欠席の中村明彦都議会議長からは祝電をいただいた。

引き続き長寿会員並びに叙勲受章会員それぞれに祝意を表し、長寿会員に対し記念品の贈呈を行った。

総会は野村会長が議長となり議事を進めた。

議案第1号 平成23年度事業報告及び収支決算

議案第2号 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)

議案第3号 定款の変更

以上の案件について、全員異議なく可決承認された。

以上で会議を終了、懇親会に移り会員の親睦を図った。(参加人員 259名)

#### (2) 臨時総会(秋の大会は中止)平成24年11月6日(火) 上野精養軒にて開催

野村会長の挨拶で始まり、出席された都知事代理の秋山俊行東京都副知事、小倉基元都議会議長より祝辞をいただき、ご欠席の中村明彦都議会議長からは祝電をいただいた。

議案第1号 一般社団法人移行認可について

議案第2号 平成25年4月1日就任の役員等の選任について

議案第3号 一般社団法人移行登記のための新定款の一部(附則)変更

以上の案件について、全員異議なく可決承認された。

なお、総会中選任された理事の互選により檜垣正巳会長と木宮進理事長、山下保博・横溝清俊・金子良江・宇口昌義の4常任理事を選出した。

以上で会議を終了、懇親会に移り会員の親睦を図った。(参加人員 237名)

### 2 会報及び会員名簿の発行

会員への情報提供、会員相互の交流・親睦に資するため、会の事業の運営状況の報告、会員からの情報提供や投稿、各種サークルの活動状況、会員の消息を掲載した会報を年6回発行し、会員及び関係方面に配布した。

また、会員名簿については発行年度に当たっていないため、9月1日現在の会員情報を基本に、過去1年間の変更をまとめた追補版を作成して、会員に配布した。

### 3 各種主催事業の実施

#### (1) 施設見学会の実施

会員の見聞を広めるとともに、その健康の増進に資するため、春に施設見学会を実施した。秋の施設見学会は、会務執行の都合により今年度は中止した。

春の施設見学会 平成24年5月22日（火） 消防・防災施設の見学  
（消防庁OBの役員の協力を得て、本所防災館、災害救急情報センター、第三消防方面本部救助機動部隊を見学）

参加人員 56名（バス 2台）

#### (2) 新年賀詞交歓会及び新入会員歓迎会の実施

新年賀詞交歓会は、平成25年1月8日（火）に本会会議室において開催し、新年を祝い会員相互の健康を祝すとともに、新入会員歓迎会を併催し前年中に新しく入会した会員をお招きし、会員との親睦を図った。参加者47名。

#### (3) その他交友会主催事業の実施

会員の交流と趣味・健康の向上に資するため、次の事業を実施した。

①麻雀大会 平成24年7月13日（金） 参加者16名 場所 本会会議室

②囲碁大会 平成24年9月7日（金） 参加者22名

平成25年1月22日（火） 参加者24名 場所 本会会議室

③ゴルフ大会 第23回 平成24年6月8日（金） 参加者35名

第24回 平成24年10月5日（金） 参加者38名

大宮国際カントリークラブで開催

### 4 相談事業の実施

会員及び家族を対象として、毎月、法律相談及び税務相談を実施した。

法律相談 相談員 弁護士 坂井 利夫氏 山下 一雄氏  
相談件数 6件

税務相談 相談員 税理士 大西萬里子氏 相談件数 5件

### 5 会員の慶弔

#### (1) 長寿会員に対する祝賀

喜寿、米寿、白寿を迎えられた会員を定期総会にお招きして記念品を贈り、その労をねぎらい、長寿を祝福した。

白寿 3名、米寿 22名、喜寿 89名 計 114名

なお、平成24年12月末日現在の会員のうち、平成25年中に88歳以上になる会員147名について、平成25年2月号の会報に氏名を掲載し長寿を祝した。

#### (2) 叙勲受章会員に対する祝賀

叙勲受章会員には、会長よりお祝いの手紙を差し上げ、定期総会で紹介し祝意を表した。

平成24年 春 5名 平成24年 秋 4名

### (3) 物故会員に対する敬弔

物故された会員については、香典等を贈り弔意を表した。なお、会員及び家族の冠婚葬祭については、(株)都民互助会に団体加入し、割安な料金で利用できるよう便宜をはかった。

物故会員 53名

### 6 各種サークル活動等への支援

会員の自主的な運営による種趣味の会等のサークル活動への支援、活動の場の提供を行った。会員の自主的な趣味の会として、次のようなサークルが活動している。

俳句	3つのグループの会があり、それぞれ毎月開催
短歌	コスモス短歌会所属の三枝英夫氏の指導により隔月に開催
謡曲	観世流、宝生流の2グループがそれぞれ毎月開催
小唄	扇派家元の扇よし和師匠の指導により毎月2回開催
書道	竹塾グループが毎週利用
囲碁	4～5グループが毎月利用
麻雀	3～4グループが随時利用
その他	複数の研究会があり、それぞれ毎月開催

なお、1年間の会館施設利用実績は延べ285件(2486名)であった。

## II 公益助成等事業

### 1 社会福祉事業等への助成

本会の社団法人であることの公益性に鑑み、公益事業の一環として公益団体に寄付を行った。

本年度は日本赤十字社東京都支社に対し社資を含め13万円、東京都共同募金会、東京都社会福祉協議会、東京善意銀行、東京都暴力団追放都民センターにそれぞれ10万円、(財)東京都結核予防会に2万円を寄付した。

### 2 講演会の開催及び団体に対する後援

(1) 今年度は、秋の大会を臨時総会に切り換えたため、講演会は開催しなかった。

(2) 会員の健康の増進に資するため、財団法人東京都弘済会主催の「健康増進旅行」等友好団体の活動に対し後援・協力を行った。

## III 施設賃貸事業

### 1 交友会会館の維持管理

会館の施設管理については、テナント入室のための室内改修工事等のほか、建物や設備の老朽化による下水配管の取替工事など、機能の現状維持を重点に整備を行った。

公社住宅との一体的管理の必要性から住宅供給公社及び千代田区と協力・連携して施設の安全性・快適性の確保に努めた。

## 2 昌平橋ビル取壊し問題への対応

当ビルの建替え問題を検討するため、東京都住宅供給公社と協議し、①建物解体に向けて双方協力する、②敷地の借地権の取扱いに関し東京都と速やかに協議する、③借家人の退去が完了したときは相手方に対し借地権の買取り請求権を行使できる、等を規定した合意書を平成24年8月17日に調印した。平成27年度中の建物取壊しの必要性について検討し、今後の基本的方向について引き続き協議を行った。

## 3 テナント問題への対応

2階・3階の空室については、テナントの確保に努め、一部について入居に至ったものの、空室率は28%と高い。

賃貸料の滞納については債務者（テナント）に対する税務署等の調査があり、債権確保の見地から敷金との相殺を行い未収金の一部を解消した。また、新たな滞納の発生防止に努めた。

# IV 会務その他事務事業の執行

## 1 代議員会、理事会の開催

総会の議題等、会の運営に関する主要な案件を審議し決定するため、次のとおり代議員会及び理事会等を開催した。

代議員会	4回	理事会	5回	常任役員会	10回
常任理事会	1回	顧問相談役会	1回		

## 2 大都市退職者団体との交流

八大都市退職職員団体連絡協議会については、本年度は当番団体である横浜市港友会により横浜市において開催された会議に出席し、各団体と友好関係を維持するとともに、公益法人改革等の情報交換や協議を行った。

開催団体 横浜市港友会

開催日 平成24年10月25日（木）～26日（金）

出席団体 札幌市、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市、福岡市

## 3 事務執行体制の整備

公益法人改革に対応し、平成24年7月4日の定期総会で定款の変更、同年11月6日の臨時総会で新役員を選出等を行った。平成25年3月25日の東京都からの認可書の交付を受け、東京法務局への移行登記申請を行い、同年4月1日付での一般社団法人への移行登記が完了した。

また、事務事業の適正効率化を引き続き進めている。

## 4 ホームページの設営

当会のホームページについては、逐次内容の更新充実を行っている。

## V. 会員の状況

平成25年3月末の80歳以上の長寿会員数は696名で、会員総数1825名の36.2パーセントとなっている。

平成23年度末 普通会員 1,925名 特別会員 26法人  
 平成24年度  
 新入会員 36名  
 退会会員 136名 (うち死亡退会53名)  
 平成24年度末 普通会員 1,825名 特別会員 24法人

(参考) 年齢別会員数

(平成25年3月31日現在)

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
50		60	5	70	82	80	63	90	20	100	2
51		61	20	71	62	81	85	91	13	101	1
52		62	31	72	77	82	70	92	17	102	1
53		63	28	73	78	83	75	93	8	103	1
54		64	45	74	80	84	70	94	6	104	
55		65	45	75	77	85	83	95	4		
56		66	58	76	56	86	65	96	6		
57		67	50	77	63	87	52	97	9	109	1
58		68	44	78	87	88	20	98	2		
59	3	69	57	79	81	89	21	99	1	計	6
計	3	計	383	計	743	計	604	計	86	合計	1,825